Exploring traits of autism and their impact on functional disability in children with somatic symptom disorder

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2018-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 八田, 京子 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002157

授与機関名　順天堂大学

学位記番号　甲第 1962 号

Children with Somatic Symptom Disorder: exploring autistic traits and their effects

(小児心身症の児の自閉症傾向の検討)

八田　京子（はった　きょうこ）

博士（医学）

論文審査結果の要旨

本論文は、小児身体症状症(SSD)の児の自閉スペクトラム症(ASD)の特性を初めて定量的に評価し、さらにその他の心理検査との関連を調べた臨床的に意義のある論文である。

具体的方法としては、ケースコントロールのデザインを用い、SSD 群（n=28）と正常コントロール群（n=26）双方で児童用 Autism Spectrum Quotient(AQ)を施行した。さらに SSD 群では、ADHD Rating Scale Ⅳ、KINDL を施行した。

結果は、SSD 群で有意に AQ の下位項目である注意の切り替えのスコアが高く($p<0.05$)、またロジスティック回帰分析でも、注意の切り替え(オッズ比 1.76; 95% CI, 1.21-2.56)と年齢(オッズ比 1.47; 95% CI, 1.05-2.05)が SSD と関連がある事が示された。この注意の切り替えは、ASD 特性のうちの「こだわり」を反映していると考えられ、家族($r = -0.49$, $p = 0.009$)や友達($r = -0.39$, $p = 0.04$)の QOL と有意な負の相関が認められた。

この結果から、SSD の児は注意の切り替えに困難感を抱えやすく、「こだわり」による家族間のストレスや児の内向的な問題が SSD の発症に寄与している可能性が示された。

よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。